

仏に逢うては仏を殺せ

吉福伸逸とニューエイジの魂の旅

稲葉小太郎著 / 四六判上製 312p / 工作舎 / ¥2200+税

みなさん、はじめまして。稲葉小太郎と申します。この4月に『仏に逢うては仏を殺せ 吉福伸逸とニューエイジの魂の旅』(工作舎)という本を出しました。故吉福伸逸さんは1970年代に『ピー・ヒア・ナウ』や『タオ自然学』などニューエイジ、ニュー・サイエンスのベストセラーを翻訳。80年代には『意識のスペクトル』をはじめとするトランスパーソナル心理学の論書を次々に翻訳し、セラピストとして自己成長に関わるワークショップをリードしました。

ところがいま、吉福さんの名前を知るひとはほとんどいません。ある日、忽然と姿を消してしまったのです。吉福伸逸とは何者だったのか? なぜ短期間に、あれほど多くの翻訳ができたのか。そして、どこへ消えてしまったのか? そのナゾを探るべく、私は生前の吉福さんを知る人たちを探し、たずね歩き、話を聞きました。

インタビューに応じてくださったのは、そうそうたる方々です。作家・翻訳家・アーテ

ィストのおおえまさのりさん、作家・翻訳家の星川淳さん、70年代に雑誌「宝島」の編集長だった北山耕平さん、「なまえのないしんぶん」のあばっちさん、音楽ライターの室矢憲治さん、プラサード書店のきこりさん、ナワプラサードの高橋ゆりこさん、翻訳家・サイエンスライターで『原発はなぜ危険か』の著者である田中三彦さんなどなど。早稲田大学ハイソサエティ・オーケストラ在籍時の話はジャズ喫茶「ベイシー」店主・菅原正二さんに、パークレー時代の話は翻訳家でホリスティック医学の紹介者である上野圭一さん、現代美術作家の杉本博司さんに聞きました。

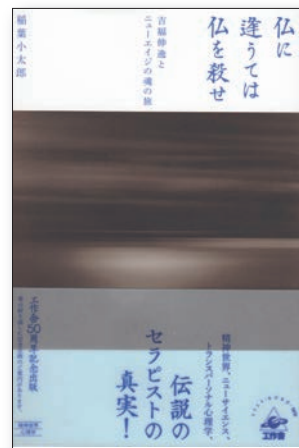
そうして、浮かび上がってきたのは吉福さんの妥協しない姿勢です。苛烈なまでのものごとを探求し、問い続けるする姿勢は、「仏に逢うては仏を殺せ」という臨済禅師の言葉を思い出させました。

その一方で、誰もが「吉福さんはやさしかった」といいます。悩んでいる人の話を親身

になって聞き、心の底から共感してくれるやさしさに、何人もが「救われた」「ほんとうに感謝している」と語ってくれました。

やさしさと厳しさ、創造と破壊。相反するものが同居しているのが吉福さんでした。そして吉福さんがそのようなパーソナリティ、生き方を獲得したのは、ある人生の決定的な挫折の体験があったからなのです……。

吉福さんは複雑な人ですし、私には想像もできない世界を経験しているひとです。どこまで書けたのか、自信はありませんが、もし書店で見かけたら手にとっていただけたらうれしいです(カバーの杉本博司さんの写真が目印です)。



Land and Life
大地と生命

映画『ホピの予言』DVDブック・

クラウドファンディングのお知らせ

1986年映画『ホピの予言』が生まれて、今年で35歳を迎えました。チェルノブイリ原発事故による反原発のうねりが起こり、87年～88年全国各地で草の根による上映が展開されました。当時は16mmフィルム二本を、監督宮田雪とスーパーバイザーの北山耕平氏が一本ずつ担い、各地を廻ったそうです。1988年2月神戸で映画とともに宮田と出会った私は、それ以降、この道の上を今日まで歩かせて頂いています。見守ってくださったみなさま、ほんとうにありがとうございます。

病を得た宮田に代わり、2004年4月16mmフィルムをデジタル化し、インタビュー映像『浄化の時代を迎えて』を収録したDVD『ホピの予言 2004年版』を制作し上映活動を再開しました。さらに「頭と心」を合わせてメッセージを届けることを心がけ、イベント、出版物、映像制作も手がけてきました。

今回のクラウドファンディングは『ホピの予言』DVDブック制作のために、ご支援を広く呼びかけるものです。2017年秋の自主ファンディングでは、148名様より1,175,626円の支援金を頂戴しています。ありがとうございます。制作が延び延びとなり、ご心配、ご不審をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

そして、昨年春からのCovid19によるパンデミックは、いよいよ世界中の人びとに、これまでの価値観や生き方の転換を迫っています。地球環境危機、核兵器禁止の声の高まり、「人新生」という地球新時代への突入、人類はどの道を選択するのか、というホピの問いかけとリアリティをもって重なる時となりました。「この年を逃しては

ならない」そう編集メンバーと確かめ合い、完成へとアクセルを踏んだこの春です。

DVDは16mmフィルムをクリーンアップし、高画質に再デジタル化したものです。ブックには、清水友邦(心身統合) 正木高志(平和思想) 広田奈津子(映画監督) 豊崎博光(核と先住民) 田中徳雲(南相馬同慶寺住職) ホビ経験者の廣海緑朗の各氏から寄稿文、アーカイブより宮田雪×北山耕平対談、漫画家水木しげる氏のホビ精霊を訪ねて、他、多彩にホピの予言が伝えるメッセージにアプローチします。

ホピの普遍的メッセージを広く多くの方にお届けし、その言葉を残すために、皆さんのお力添えを今一度お寄せ下さいませよう、心よりお願い申し上げます。

2021年4月15日

『ホピの予言』DVDブック制作プロジェクト 代表辰巳玲子

【クラウドファンディングご案内】

- ・インターネットにて MotionGallery のサイト→
検索: ホピの予言
- ・インターネットされない方、FAXにてお問合せください。内容と申し込みご案内を折り返し送信させていただきます。
- ・Twitter 検索: 『ホピの予言』DVDブック
- ・facebook: ランド・アンド・ライフ
- ・ランド・アンド・ライフ HP <https://www.landandlife.org/>
- ・FAX 専用 089-933-7911 「梶田屋宛て」